



このたびの熊本地方の地震や千葉県での豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興と、日常の生活が戻りますことをお祈り申し上げます。

ことばが未来をつくる

校長 財部 幸樹

39日間の夏休みが終わり、今日からいよいよ2学期がスタートします。

7月29日(水)「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」に本校代表として6年生の大山 結望さんが出席しました。大山さんは今年度本校で実施しているいじめ防止に関する取組を発表しました。その後、緑区の児童生徒といじめ防止に向けたスローガンづくりを行いました。話し合っ



て決めた緑区のスローガン「知ろう みんなの気持ち 伝えよう 感謝の気持ち」は、2学期以降、児童会活動で全校に広める予定です。

さて、6年生の活躍はこれだけではありません。ここでは、1学期の終業式と2学期の始業式の発表内容などを紹介します。

○ 7月17日(金) 終業式

(1) 6年代表児童の発表

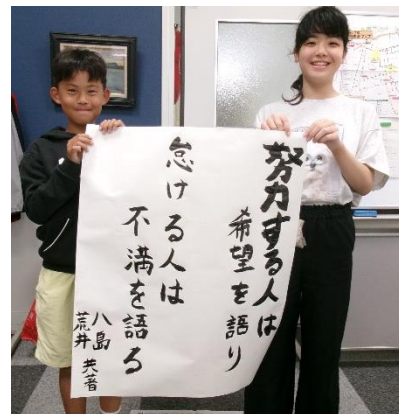
- ① 1学期、「前向きな気持ちでがんばったこと」を教えてください。
- ② 「夏休みに挑戦し続けたいこと」を教えてください。

【6年3組 八島 健 さん】

- ① 応援団長として、責任をもって本番に臨むことができました。
がんばることができた理由は、応援団のみんなが支えてくれたこと、一緒に練習してくれたこと、そして、クラスみんなや先生たちが支えてくれたからです。
- ② こまめに運動をし、健康な体で生活し、積極的にあいさつなどをしていきたいです。

【6年4組 荒井 瑞希 さん】

- ① 理科や算数(理系)の勉強をがんばりました。
頑張ることができた理由は、理科は苦手であり、あまり良い点が取れなかったからです。
算数は得意なので、もっと上へ行きたいと思ったからです。
- ② 理科や算数だけでなく、社会や国語も工夫して勉強し続けたいです。



(2) 子どもたちに伝えた「言葉」と解説

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』

小説家・井上靖さんの言葉です。「もし、その人が希望を語っているのなら、それは『前向きに努力している人』である証です。逆に、不満ばかり語っているのなら、その人は『自分は怠けている』と言っているようなものです。」小学生向けにわかりやすくすると、「がんばっている人は、明るい未来や『こうなりたい』という気持ちを話します。でも、さぼっていると、いやなことや文句ばかり言うようになります。」といったところでしょうか。人は楽な方へ行きがちですが、前向きな気持ちをもつことが大切です。夏休みには、何か一つ「これをがんばる!」と決めて続けてみましょう。そして、2学期、希望いっぱいの気持ちで元気に集まり、みんなで前向きな言葉を伝え合える学校にしていきたいと思います。

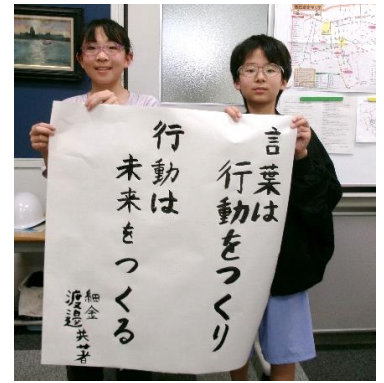
○ 8月26日(水)始業式

(1) 6年代表児童の発表

- ① 2学期「何をがんばろう」と考えていますか。
- ② そのために、何をしていきますか。

【6年1組 細金 明可 さん】

- ①「元気よくあいさつをすること」「返事をする」「反応すること」をがんばりたいです。どれも、友達や先生と気持ちよく関わるために大切なことだと思っています。
- ②「自分から目を見てあいさつをする」「周りを見て行動する」「話をよく聴く」の3つを行い、自分も周りの人も気持ちよく過ごせるようにしていきたいです。



【6年2組 渡邊 暁仁 さん】

- ①金管バンドに入っているので、「もっとみんなを楽しませる演奏」をしたいです。
- ②今まで以上に、部員のみんなと息を合わせ、お互いに声をかけ合いながら練習を重ねていきたいです。そして、みんなで一つの音楽をつくり上げる喜びを大切にしていきたいです。

(2) 子どもたちに伝えた「言葉」と解説

『言葉は行動をつくり、行動は未来をつくる』

「やってみよう!」と言うと、体は動きやすくなります。でも、「めんどうだなあ」と言う、なかなか動けません。このように、言葉が行動を決めて、行動が未来をつくっていくのだと思います。2学期は、後ろ向きの言葉「できない」ではなく、前向きな言葉「やってみよう」「がんばろう」という言葉を使ってみましょう。ほんの少し、一歩だけでも大丈夫です。その一歩が重なると、みなさんの未来はどんどんよくなっていくと思います。2学期も、よい言葉を使って、よい行動をして、みんなでよい未来をつくっていきましょう。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉は、私たち大人にとっても心に響くものです。そのように感じるのは、できていそうで実は十分にできていない自分に気付いているからではないでしょうか。だからこそ、この言葉を前向きに受け止め、日々の在り方を見つめ直すことが大切だと考えます。

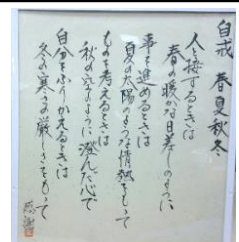
「言葉は行動をつくり、行動は未来をつくる」との考えのもと、前向きな言葉を大切にしながら、子どもたちのよりよい行動へとつなげていきます。2学期も、「やってみよう」「がんばろう」といった言葉を自ら選び、小さな努力を積み重ねられるよう支援してまいります。

各家庭、地域の皆様におかれましても、お子さまの前向きな言葉や一歩踏み出そうとする姿をぜひ認め、励ましていただけますと幸いです。学校と家庭、地域が同じ思いで支えることで、その成長はより確かなものになると考えております。

2学期も、子どもたち一人ひとりが希望をもち主体的に未来を切り拓けるよう、教職員一同努めてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

自戒「春夏秋冬」(出典不明)

春…人と接するときは、春の暖かな日差しのように
夏…事を進めるときは、夏の太陽のような情熱をもって
秋…ものを考えるときは、秋の空のように澄んだ心で
冬…自分をふりかえるときは、冬の寒さの厳しさをもって



2学期スタートの月。「めあて」を改めて立てて、力強く進めていく大切な時期。前向きな一歩を積み重ね、その継続が、やがて大きな成長となり、自分の未来を明るく照らしていきます。

事を進める時は、夏の太陽のような情熱をもって!